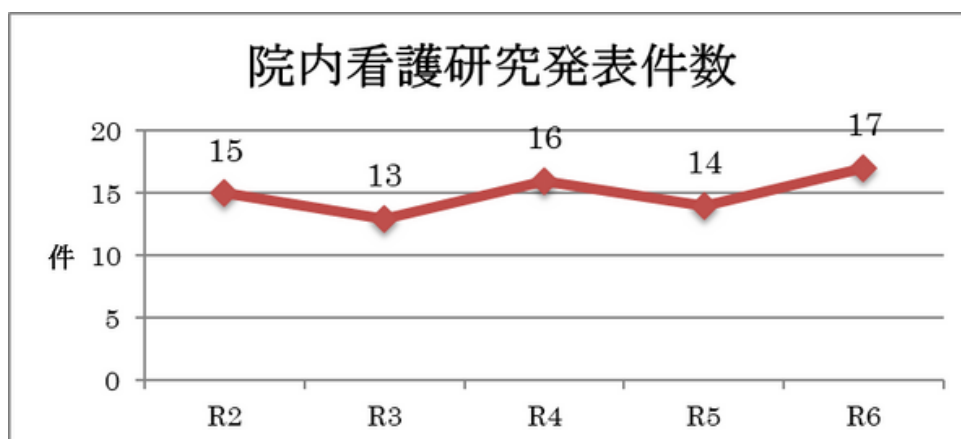


看護者の倫理綱領(2003年日本看護協会)にも述べられているように、看護者は研究や実践を通して、専門的知識、技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与しなければなりません。その手段の場として学会発表や投稿が必要であると考えます。

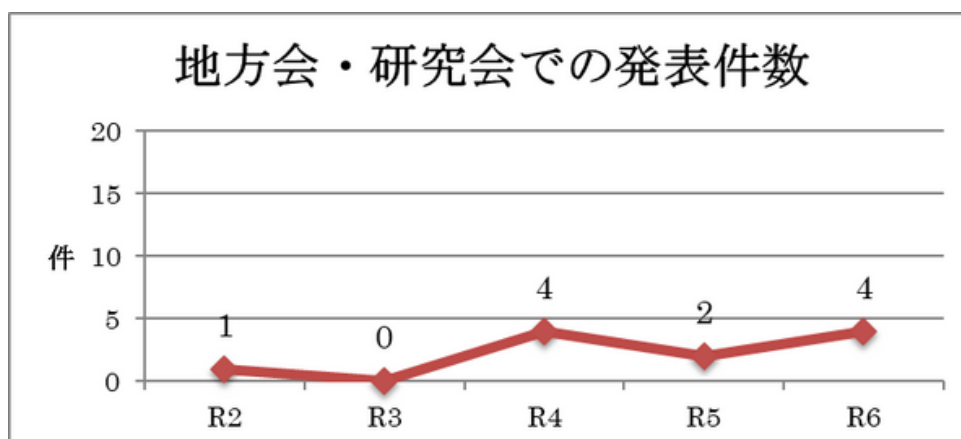
看護管理者ラダーの「質保証」の領域において「研究的な取り組みを行い、看護サービスの質向上に活かしている」と挙げられており、看護の質を表わす上では重要な指標となります。

32. 院内看護研究発表件数：17件

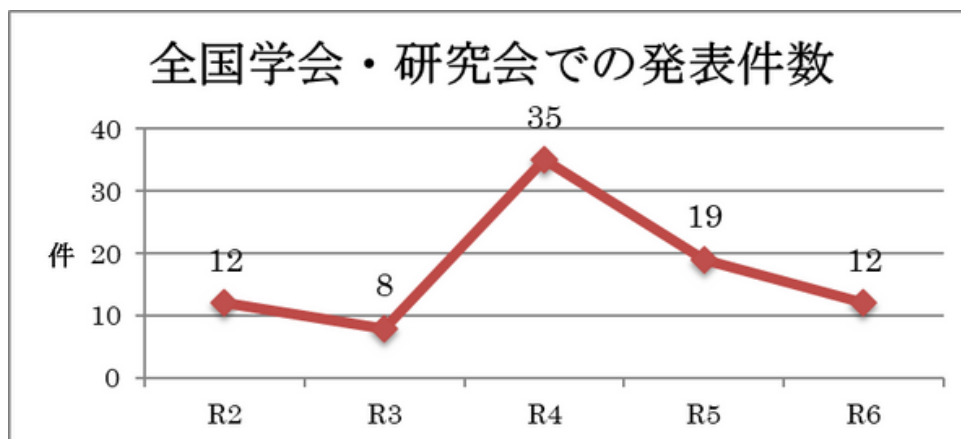


※当院で開催される院内看護研究発表会の年間開催回数および募集演題数により異なる。

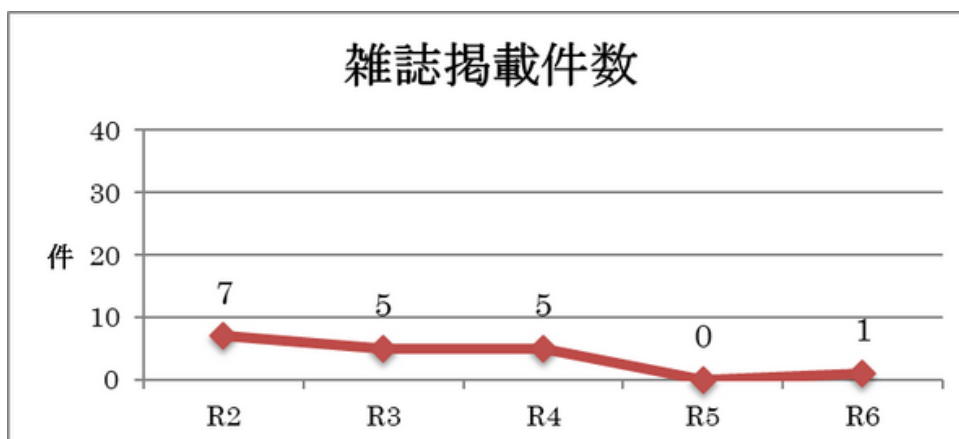
33. 地方会・研究会での発表件数：4件



34. 全国学会・研究会での発表件数：12件



35. 雑誌掲載件数：1件



※雑誌掲載件数は学会誌への論文投稿の他、看護・医学系雑誌への種々の投稿も含む。